

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	立正大学
設置者名	学校法人立正大学学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数					省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	教養 科目	専門 科目	合計			
仏教学部	宗学科	夜・通信	0	0	0	14	14	13		
	仏教学科	夜・通信			0	14	14	13		
文学部	哲学科	夜・通信	0		10	4	0	14	13	
	史学科	夜・通信			10	4	0	14	13	
	社会学科	夜・通信			0	4	10	14	13	
	文学科 日本語日本文学 専攻コース	夜・通信			10	4	0	14	13	
	文学科 英語英米文学専 攻コース	夜・通信			10	4	0	14	13	
経済学部	経済学科	夜・通信	0	0	6	8	14	13		
経営学部	経営学科	夜・通信	0	0	0	14	14	13		
法学部	法学科	夜・通信	0	0	0	14	14	13		
社会福祉学部	社会福祉学科	夜・通信	0	0	0	14	14	13		
	子ども教育福祉 学科	夜・通信			0	13	13	13		
地球環境科学部	環境システム学科	夜・通信	0	0	8	6	14	13		
	地理学科	夜・通信			10	4	14	13		

心理学部	臨床心理学科	夜・通信	0	0	0	14	14	13	
	対人・社会心理学科	夜・通信			0	14	14	13	

(備考)

■経済学部
経済学科：1～2年生については新課程、3～4年生については旧課程で計上。

■経営学部
経営学科：1～2年生については新課程、3～4年生については旧課程で計上。

■法学部
法学科：1～2年生については新課程、3～4年生については旧課程で計上。

■社会福祉学部
社会福祉学科：1年生については新課程、2～4年生については旧課程で計上。
子ども教育福祉学科：1年生については新課程、2～4年生については旧課程で計上。

■心理学部
臨床心理学科：1～2年生については新課程、3～4年生については旧課程で計上。
対人・社会心理学科：1～2年生については新課程、3～4年生については旧課程で計上。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学公式ホームページにて公表している。
http://www.ris.ac.jp/introduction/idea_purpose/educational_idea/l10kip000002vf_v3.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	立正大学
設置者名	学校法人立正大学学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学公式ホームページにて公表している。
http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/basic_info/1_03.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役	2018.4.1 ～2021.3.31	組織運営体制・財政 基盤へのチェック 機能
非常勤	元衆議院議員	2018.4.1 ～2021.3.31	組織運営体制への チェック機能・地方 自治体との連携等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	立正大学
設置者名	学校法人立正大学学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各授業科目における授業計画の作成にあたっては、全学的に項目を統一し、シラバス作成ガイドラインに沿って作成している。シラバス作成ガイドラインは、全学の委員会である教務委員会(令和元年度以降は全学教育推進センター運営委員会)において毎年見直し、必要に応じた改訂を行っている。授業計画の項目は、授業の目的、到達目標、授業外学修内容、授業計画、成績評価の方法、フィードバックの内容、教科書・指定図書・参考書、教員からのお知らせ、オフィスアワーとしている。また、授業担当者の作成後に、第三者におけるシラバスチェックを行っている。 シラバスの作成時期は、例年、前年度の12月末に作成ガイドラインを添付した上で作成依頼を行い、1月末を提出締め切り。その後、シラバス第三者チェック、修正等を行い、3月上旬にWEBにて公開、あわせて4月のガイダンス時に学生には冊子を配付している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学公式ホームページにて公表している。 https://portal.ris.ac.jp/campusweb/slbsskgr.do</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスであらかじめ示した成績評価の方法に基づき、定期試験、レポート、授業内評価、平素の取組等を総合的に勘案し評価を実施している。 毎年度、教員へ配付している「授業支援ハンドブック」において、成績評価、GPAについての説明を行うとともに、学内規程で定められた成績評価の証憑資料の保管期限についても周知をしている。また、成績を学生に開示した後、学生からの成績調査確認申請期間を設けている。この制度の目的は、公式で統一された手続きによる問い合わせを可能にすることで、成績評価に対する透明性と公平性を高めることとしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 科目ごとの成績(評点)に対し、GP(Grade Point)を付与し単位数を掛け、その総和を履修登録単位数で割ることで、GPAを算出している。 学期ごと、年度ごとのGPAを学生へ通知しており、その数値変化により、学生が自らの学修成果の達成状況を修得単位数とあわせて客観的に把握できるようにしている。また、学期ごとに学科・学年別のGPA分布図を公開しており、学生は自身のGPAを分布図とあわせて確認することができる。</p>	

GPA の具体的な算出方法は次のとおりである。

GPA = 「履修登録した授業科目の単位数」 × 「科目の GP※」 の総和
÷ 「履修登録した授業科目の単位数」 の合計

※GP = (評点 - 55) ÷ 10

客観的な指標の
算出方法の公表方法

大学公式ホームページにて公表している。
http://www.ris.ac.jp/introduction/information/learning_system/gpa_system.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

全学、および各学部・学科のディプロマ・ポリシーに基づき、単位修得状況、各科目の成績、卒業論文や卒業研究の成績を踏まえ、卒業を認定している。全学のディプロマ・ポリシーは、以下のとおりである。

立正大学は、各学部学科の課程を修めたうえで、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

< 関心・意欲・態度 >

- ・建学の精神を貴ぶ姿勢を有している。
- ・モラル・学識と専門性・能力を掛け合わせながら社会に貢献しようとする公共的使命を持ち、生涯にわたって学び成長し続ける豊かな人間性と自律性を身につけている。
- ・人や文化の多様性を受容し、他者と協働して新しい価値を創造しようとする態度を身につけている。
- ・人間・社会・地球と積極的に関わり、主体的に行動しようとする視点を身につけている。

< 思考・判断・表現 >

- ・人間・社会・地球の諸課題を発見し、その機序を探求しようとする思考力を有している。
- ・人間・社会・地球の諸課題を解決するために、論理的・批判的に判断することができる。
- ・自らの考えを他者に理解されやすいように表現することができる。
- ・生涯を見通しながら現在の学びを計画するキャリア形成力を身につけている。

< 知識・理解 >

- ・所属学部学科の専門分野についての全般的な知識を身につけ、理解している。
- ・所属学部学科の特定の専門分野についての応用的な知識を身につけ、理解している。
- ・人間・社会・地球に関する基礎的な知識を身につけ、理解している。
- ・外国語運用能力およびその背景にある当該外国の文化・歴史等に関する知識を身につけ、理解している。

< 技能 >

- ・日本語・外国語の表現力やメディアリテラシー・情報倫理を含む、コミュニケーション能力を身につけている。
- ・修得した知識・技能・態度等を統合化し、活用する力を身につけている。
- ・複合的・多面的な領域への学修経験がある。
- ・課題を発見し、探究し、解決し、表現する力を身につけている。
- ・論理的・批判的思考力を身につけている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学公式ホームページにて公表している。
http://www.ris.ac.jp/introduction/idea_purpose/educational_idea/110kip000002vfv3.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	立正大学
設置者名	学校法人立正大学学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	以下、すべて大学公式ホームページにて公表している。 http://www.ris.ac.jp/rissho_school/about_school/financial_affairs/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.ris.ac.jp/rissho_school/about_school/financial_affairs/index.html
財産目録	http://www.ris.ac.jp/rissho_school/about_school/financial_affairs/index.html
事業報告書	http://www.ris.ac.jp/rissho_school/about_school/plan_report/business_reporting.html
監事による監査報告(書)	http://www.ris.ac.jp/rissho_school/about_school/financial_affairs/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画 (名称:平成31(2019)年度事業計画書 対象年度:2019年度)
公表方法:大学公式ホームページにて公表している。 http://www.ris.ac.jp/rissho_school/about_school/plan_report/business_plan.html
中長期計画 (名称:RISSHO VISION150 立正大学学園第1次中期計画 対象年度:2018~2022年度)
公表方法:大学公式ホームページにて公表している。 http://www.ris.ac.jp/vision150/index.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:毎年度、点検・評価報告書を作成し、大学公式ホームページにて公表している。 http://www.ris.ac.jp/introduction/inspection_evaluation/detailed_rules.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学公式ホームページにて公表している。 http://www.ris.ac.jp/introduction/inspection_evaluation/attestation_evaluation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 仏教学部宗学科
教育研究上の目的 (公表方法: 学則にて公表) http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html
(概要) 仏教学部宗学科は、仏教学 (法華仏教・日本仏教) 分野における「モラリスト×エキスパート」を養成することを教育の目標とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/buddhism/policies.html
(概要) 仏教学部宗学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与する。(詳細は添付資料参照)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/buddhism/policies.html
(概要) 仏教学部宗学科は、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を組み合わせた授業を開講する。特に、人間の生き方と現代社会の諸問題、歴史的な探求とその解明方法、精神文化の諸相と宗教的価値観などについて広く深く学修し、コミュニケーション能力を高めて他者理解をはかり、社会的諸課題を解決する能力を養成し、宗学を総合的に体得することができるように編成する。(詳細は添付資料参照)
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/buddhism/policies.html
(概要) 仏教学部宗学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待する。 ・ 仏教の教え、法華経の思想や文化、日蓮聖人の思想・信仰、日蓮教団の歴史などについて理解や関心をもっている者。 ・ 僧侶に求められる基本的な資質を身につけたい者、および専門的に仏教学や日蓮教学などを学修する意欲をもっている者。 ・ 仏教の教えに立脚して識見を深め、慈悲の心を実践し、広く社会に貢献する意欲をもっている者。 (詳細は添付資料参照)

学部等名 仏教学部仏教学科
教育研究上の目的 (公表方法: 学則にて公表) http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html
(概要) 仏教学部仏教学科は、仏教学 (思想・歴史、文化・芸術) 分野における「モラリスト×エキスパート」を養成することを教育の目標とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/buddhism/policies.html
(概要) 仏教学部仏教学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与する。(詳細は添付資料参照)

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/buddhism/policies.html</p>
<p>（概要） 仏教学部仏教学科は、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を組み合わせた授業を開講する。特に、基礎・演習系、言語・スキル系、基礎・基幹系、言語系、思想・思想史系、文化史・文化財系、芸術実習系、宗教学系等といった分類に基づく体系性を有するカリキュラムを編成する。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/buddhism/policies.html</p>
<p>（概要） 仏教学部仏教学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待する。 ・学修を通じて専門的な知識や能力を獲得し、人間と社会、人間と自然との関係を探究し、現代社会の諸問題について自ら考える意欲をもっている者。 ・広く人間・社会・文化の本質を探究しようとする意志と、その学修を遂行するための基礎的文章読解力、および表現力を潜在的にもっている者。 ・自らと異なる文化に対して積極的に理解することによって、自らの文化理解を深めようとする意志をもっている者。 ・人間の尊厳と社会正義に関心があり、社会貢献、奉仕活動などに積極的に関わろうとする意志をもっている者。 （詳細は添付資料参照）</p>

<p>学部等名 文学部哲学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表） http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>
<p>（概要） 文学部哲学科は、学部の教育目的に則り、哲学の専門知識を学び、現代社会の問題を見極め、自ら考え対処する力を備えた個人を育成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的として定めています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html</p>
<p>（概要） 文学部哲学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html</p>
<p>（概要） 文学部哲学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html</p>
<p>（概要） 文学部哲学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。 ・哲学の諸領域について幅広い興味と関心を持ち、積極的に学び探求しようとする意欲をもっている者。 ・自ら問題を発見し、考え、他人と積極的にコミュニケーションを図る意欲をもっている者。</p>

(詳細は添付資料参照)

学部等名 文学部史学科
教育研究上の目的 (公表方法: 学則にて公表) http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html
(概要) 文学部史学科は、学部の教育目的に則り、史学の専門知識を学ぶとともに、過去を客観的に判断する視点を持ち、有用な様々な知見によって社会に貢献できる個人を育成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的として定めています。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部史学科の課程を修めたいうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。(詳細は添付資料参照)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部史学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。(詳細は添付資料参照)
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部史学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。 ・歴史が好きだけでなく、過去を知るために自ら足を使って史料を探し、遺跡を歩き、自らの目で歴史を捉え考えることができる者。 ・様々な異なる過去の捉え方を比較し、史料から独自の考え方を探り出す意欲をもっている者。 ・自らの調べたいことを読書を通じて導き出す意欲をもっている者。 (詳細は添付資料参照)

学部等名 文学部社会学科
教育研究上の目的 (公表方法: 学則にて公表) http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html
(概要) 文学部社会学科は、学部の教育目的に則り、社会学の専門知識を学ぶとともに、複雑化した現代社会を分析できる能力を備えた個人を育成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的として定めています。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部社会学科の課程を修めたいうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。(詳細は添付資料参照)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表)

http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部社会学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部社会学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。 ・人と人との相互行為、社会関係、社会的ネットワーク、社会制度や社会のしくみ、社会問題、グローバルな地域関係や国際関係、文化やエスニシティなどに興味・関心をもっている者。 ・高等学校卒業程度の広い基礎的な知識と理解力を前提として、より深く専門的に現代社会のダイナミックな動きと多様な社会問題の発生のメカニズムについて学ぶ意欲を持ち、講義等を受動的に聴講するだけでなく主体的に自分の頭で考え行動する姿勢を身につけている者。 （詳細は添付資料参照）

学部等名 文学部文学科日本語日本文学専攻コース
教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表） http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html
(概要) 文学部文学科日本語日本文学専攻コースは、学部の教育目的に則り、日本文学の伝統や文化を継承するとともに、世界の中の日本語・日本文学という視座のもとに、新しい時代を切り拓く個人を育成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的として定めています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部文学科日本語日本文学専攻コースの課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。（詳細は添付資料参照）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部文学科日本語日本文学専攻コースは、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部文学科日本語日本文学専攻コースでは、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。 ・文学作品や文化事象に深い興味を抱いている者、ことばに対して強い好奇心を持っている者、外国の文学・文化と日本との比較に強い興味を抱いている者、または歴史や社会を背景とした「人間」に対して深い興味をもっている者。 ・国語・書道教員免許、図書館司書、学芸員などの諸資格の取得や、小説を書きたいなど、

明確に入学目的をもっている者。
・本コースで学んだ力で社会に貢献していく意欲をもっている者。
(詳細は添付資料参照)

学部等名 文学部文学科英語英米文学専攻コース
教育研究上の目的 (公表方法: 学則にて公表) http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html
(概要) 文学部文学科英語英米文学専攻コースは、学部の教育目的に則り、英米文学の専門知識を学ぶとともに、英語を通じて国際社会に貢献できる個人を育成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的として定めています。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部文学科英語英米文学専攻コースの課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。(詳細は添付資料参照)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部文学科英語英米文学専攻コースは、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。(詳細は添付資料参照)
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/letter/policies.html
(概要) 文学部文学科英語英米文学専攻コースでは、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。 ・英語コミュニケーションや英米文学、英語学、英語圏の文化に興味と関心を持ち、それらを幅広く学ぶ意欲をもっている者。 ・国際社会で活躍するための英語コミュニケーション能力、異文化に対する理解、広い視野の獲得を目指している者。 ・明確な目的意識を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲をもっている者。 (詳細は添付資料参照)

学部等名 経済学部経済学科
教育研究上の目的 (公表方法: 学則にて公表) http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html
(概要) 経済学部は、複雑で多様な現代の経済社会の構造およびその変動要因を理解するとともに、豊かな教養を背景として、自立的な思考力と主体的な行動力をもって課題の発見と解決に意欲的に取り組むことのできる有為な人材を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的、その他の教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学ホームページにて公表) http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/economics/policies.html

<p>(概要)</p> <p>経済学部経済学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。(詳細は添付資料参照)</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:大学ホームページにて公表)</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/economics/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>経済学部経済学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。(詳細は添付資料参照)</p>
<p>入学者の受入れに関する方針(公表方法:大学ホームページにて公表)</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/economics/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>経済学部経済学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学の専門的知識の習得に必要な基礎学力を有している者。 ・経済および経済学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。 ・広い視野と深い専門的学識を身につけ、変化する社会の課題を把握して積極的に関与する意欲をもっている者。 <p>(詳細は添付資料参照)</p>

<p>学部等名 経営学部経営学科</p>
<p>教育研究上の目的(公表方法:学則にて公表)</p> <p>http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>経営学部は、経営学に関する深い専門領域の研究を通じて、産業、社会ひいては人類に貢献する「心豊かな産業人」を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針(公表方法:大学ホームページにて公表)</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/ba/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>経営学部経営学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。(詳細は添付資料参照)</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:大学ホームページにて公表)</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/ba/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>経営学部経営学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野の形成を促し、「心豊かな産業人」育成のために、経営学の基盤となる社会科学系の諸科目に加え、現代的なテーマに対応した教養的科目を設置します。 ・現代産業社会の課題に対応できる「共創力」「課題解決能力」を養うために、相互交流をベースとした科目、ゼミナール、論文作成科目を段階的に設置します。 ・経営学領域の諸理論について、バランスのとれた学修ができるよう、戦略経営・マーケティング・会計学・情報システム学の4系列の専門科目群を編成します。 ・組織の運営とその課題の解決を可能とする技能を養うために、情報処理・語学関連の科目を必修とし、より上級な学修のための科目を設置します。 <p>(詳細は添付資料参照)</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/ba/policies.html</p>
<p>（概要） 経営学部経営学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。 ・大学卒業後の目指すべき進路を明確に定めている者。 ・高等学校卒業レベルの言語能力と社会科科目の基礎知識を有し、それらを発展させ、能動的にテーマを設定し勉学に取り組む意欲をもっている者。 （詳細は添付資料参照）</p>

<p>学部等名 法学部法学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表） http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>
<p>（概要） 法学部法学科は、法の成り立ち、仕組み、あり方を探求することによって、深い教養とモラルとが融合した、感性豊かな法的素養を有する指導的職業人を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的として定めています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/law/policies.html</p>
<p>（概要） 法学部法学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/law/policies.html</p>
<p>（概要） 法学部法学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/law/policies.html</p>
<p>（概要） 法学部法学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。 ・法律、政治、社会問題に広い関心を持ち、基礎的学力を有している者。 ・「考える力」および「生き抜く力」を養い、将来実社会で活かしたいという意欲をもっている者。 ・学習のみならず物事に意欲的、かつ継続的に取り組む姿勢を身につけている者。 （詳細は添付資料参照）</p>

<p>学部等名 社会福祉学部社会福祉学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表） http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>

<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部は、社会の現代的課題を分析する能力、共感する心と豊かな人間性、そして福祉課題に取り組む実践力を培い、実社会の各分野で活躍できる有為な人材を養成することを教育研究上の目的とする。</p> <p>社会福祉学科は、社会福祉の価値や倫理を理解し、幅広い総合的視点から福祉・人間・社会・文化・教育を捉え、実践を通して福祉社会の実現に寄与できる構想力のある人材を養成することを教育研究上の目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/socialwelfare/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部社会福祉学科の課程を修めたるうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与する。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/socialwelfare/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部社会福祉学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講する。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/socialwelfare/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部社会福祉学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士・精神保健福祉士として将来的に社会福祉の対人援助の現場で活躍しようとする意欲をもっている者。 ・コミュニケーション能力と他者理解の能力に優れ、特別支援学校教諭免許状を取得し障害児教育に携わる意欲をもっている者。 ・「福祉社会」の各種フィールドで構想力を発揮し、福祉コミュニティの形成に貢献する意欲をもっている者。 <p>（詳細は添付資料参照）</p>

<p>学部等名 社会福祉学部子ども教育福祉学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部は、社会の現代的課題を分析する能力、共感する心と豊かな人間性、そして福祉課題に取り組む実践力を培い、実社会の各分野で活躍できる有為な人材を養成することを教育研究上の目的とする。</p> <p>子ども教育福祉学科は、教育・心理・福祉の総合的視点から、人間の深い理解に根ざした、子ども教育福祉の教育と実践を通して、各分野で活躍できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/socialwelfare/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部子ども教育福祉学科の課程を修めたるうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与する。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/socialwelfare/policies.html</p>

<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部子ども教育福祉学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講する。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/socialwelfare/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>社会福祉学部子ども教育福祉学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間および子どもの教育・福祉・心理をめぐる諸問題に関心をもち、それらの問題を多角的、柔軟に思考することができる者。 ・人間の尊厳、人権を尊重し、自ら積極的に課題解決に向かって努力し、論理的な思考とコミュニケーション能力を鍛え、共感を持って子ども支援に取り組む意欲をもっている者。 <p>（詳細は添付資料参照）</p>

<p>学部等名 地球環境科学部環境システム学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部の人材養成に関する目的およびその他の教育研究上の目的は、地球と地域の環境問題の解決に貢献できる有為な人材の養成である。</p> <p>環境システム学科におけるこれらの目的は、環境をシステムとしてとらえ科学的根拠に基づき持続可能な社会の形成に貢献する有為な人材を養成することである。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/geo/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部環境システム学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/geo/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部環境システム学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/geo/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部環境システム学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を構成する4圏（地圏・気圏・水圏・生物圏）や国際的情報交換に欠かすことの出来ない外国語、自然環境問題や環境保全に関心を持つ者。 <p>（詳細は添付資料参照）</p>

<p>学部等名 地球環境科学部地理学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/i</p>

ndex.html
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部の人材養成に関する目的およびその他の教育研究上の目的は、地球と地域の環境問題の解決に貢献できる有為な人材の養成である。</p> <p>地理学科におけるこれらの目的は、様々な現象の複合として起こる社会および自然の諸問題を地理的・空間的視点から多面的に把握しその解決の方策を探求することができる人材を養成することである。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/geo/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部地理学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。（能力・資質の詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/geo/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部地理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/geo/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>地球環境科学部地理学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と社会の諸問題や社会的課題に高い関心を持ち世界および日本における地域のさまざまな課題に対する解決能力や、地域の発展に貢献しうる資質をもっている者。 <p>（詳細は添付資料参照）</p>

学部等名 心理学部臨床心理学科
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>
<p>(概要)</p> <p>心理学部臨床心理学科は、その学士課程教育プログラム（正課外のものも含む。）を通じ、持続可能でより良い豊かな平和社会を築くための一つの重心・芯となるべき人材として、臨床心理学分野における「モラリスト×エキスパート」を養成することを教育の目標とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/psychology/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>心理学部臨床心理学科の課程を修めたうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）</p> <p>http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/psychology/policies.html</p>
<p>(概要)</p> <p>心理学部臨床心理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/psychology/policies.html</p>
<p>（概要） 心理学部臨床心理学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。 ・臨床心理学の専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけている者。 ・臨床心理学の研究に必要となる自らの知識・技能を活用して問題を解決するための思考力、判断力を身につけている者。 ・臨床心理学の専門的技術の修得に必要なコミュニケーション能力、自己表現能力、および共感性を身につけている者。 ・他者と協働して学修しようとする意欲をもっている者。 ・臨床心理学の専門性を活かして社会に貢献していこうとする意欲をもっている者。 <p>（詳細は添付資料参照）</p>
<p>学部等名 心理学部対人・社会心理学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：学則にて公表） http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/school_regulations/index.html</p>
<p>（概要） 心理学部対人・社会心理学科は、その学士課程教育プログラム（正課外のものも含む。）を通じ、持続可能でより良い豊かな平和社会を築くための一つの重心・芯となるべき人材として、対人・社会心理学分野における「モラリスト×エキスパート」を養成することを教育の目標とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/psychology/policies.html</p>
<p>（概要） 心理学部対人・社会心理学科の課程を修めたるうえで、所定の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/psychology/policies.html</p>
<p>（概要） 心理学部対人・社会心理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。（詳細は添付資料参照）</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） http://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/psychology/policies.html</p>
<p>（概要） 心理学部対人・社会心理学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人・社会心理学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。 ・対人・社会心理学の専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけている者。 ・対人・社会心理学の研究に必要となる自らの知識・技能を活用して問題を解決するための思考力、判断力を身につけている者。 ・対人・社会心理学の専門的技術の修得に必要なコミュニケーション能力、自己表現能力、および共感性を身につけている者。 ・他者と協働して学修しようとする意欲をもっている者。 ・対人・社会心理学の専門性を活かして社会に貢献していこうとする意欲をもっている者。 <p>（詳細は添付資料参照）</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学公式ホームページにて公表している。

http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/management/education_and_learning.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	7人	—					7人
仏教学部	—	10人	2人	4人	2人	0人	18人
文学部	—	30人	10人	12人	0人	0人	52人
経済学部	—	16人	9人	6人	0人	0人	31人
経営学部	—	16人	6人	4人	0人	0人	26人
法学部	—	20人	10人	2人	1人	0人	33人
社会福祉学部	—	15人	11人	5人	6人	0人	37人
地球環境科学部	—	20人	5人	5人	8人	0人	38人
心理学部	—	19人	9人	4人	2人	0人	34人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			593人				593人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学公式ホームページにて公表している。 http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/3_03.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
学長を委員長、FD担当副学長を副委員長とする立正大学FD委員会を組織して全学で実施している。 FD委員会では、全学的な教育支援活動の企画立案に取り組むとともに、学部・学科等の組織ごとに開催される授業研修会・研究会などを支援している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
仏教学部	105人	104人	99.0%	420人	459人	109.3%	-人	-人
文学部	560人	436人	77.9%	2,140人	2,217人	103.6%	-人	-人
経済学部	400人	397人	99.3%	1,520人	1,584人	104.2%	-人	-人
経営学部	330人	336人	101.8%	1,260人	1,324人	105.1%	-人	-人
法学部	340人	308人	90.6%	1,280人	1,305人	102.0%	-人	-人
社会福祉学部	300人	293人	97.7%	1,200人	1,232人	102.7%	-人	-人
地球環境科学部	245人	222人	90.6%	950人	946人	99.6%	-人	-人
心理学部	285人	271人	95.1%	1,070人	1,152人	107.7%	-人	-人
合計	2,565人	2,367人	92.3%	9,840人	10,219人	103.9%	-人	-人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
仏教学部	72人 (100%)	1人 (1.4%)	59人 (81.9%)	12人 (16.7%)
文学部	455人 (100%)	7人 (1.5%)	385人 (84.6%)	63人 (13.8%)
経済学部	335人 (100%)	1人 (0.3%)	293人 (87.5%)	41人 (12.2%)
経営学部	296人 (100%)	1人 (0.3%)	270人 (91.2%)	25人 (8.4%)
法学部	321人 (100%)	1人 (0.3%)	278人 (86.6%)	42人 (13.1%)
社会福祉学部	251人 (100%)	2人 (0.8%)	230人 (91.6%)	19人 (7.6%)
地球環境科学部	205人 (100%)	8人 (3.9%)	164人 (80.0%)	33人 (16.1%)
心理学部	271人 (100%)	22人 (8.1%)	212人 (78.2%)	37人 (13.7%)
合計	2,206人 (100%)	43人 (1.9%)	1,891人 (85.7%)	272人 (12.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
立正大学大学院、地方公務員(行政職、警察官、消防吏員)、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ニトリ、青山商事株式会社、城南信用金庫、株式会社キーエンス、大和ハウス工業株式会社、トランスコスモス株式会社				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>各授業科目における授業計画の作成にあたっては、全学的に項目を統一し、シラバス作成ガイドラインに沿って作成している。シラバス作成ガイドラインは、全学の委員会である教務委員会（令和元年度以降は全学教育推進センター運営委員会）において毎年見直し、必要に応じた改訂を行っている。授業計画の項目は、授業の目的、到達目標、授業外学修内容、授業計画、成績評価の方法、フィードバックの内容、教科書・指定図書・参考書、教員からのお知らせ、オフィスアワーとしている。また、授業担当者の作成後に、第三者におけるシラバスチェックを行っている。</p> <p>シラバスの作成時期は、例年、前年度の12月末に作成ガイドラインを添付した上で作成依頼を行い、1月末を提出締め切り。その後、シラバス第三者チェック、修正等を行い、3月上旬にWEBにて公開、あわせて4月のガイダンス時に学生には冊子を配付している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>成績評価については、シラバスであらかじめ示した成績評価の方法に基づき、定期試験、レポート、授業内評価、平素の取組等を総合的に勘案し評価を実施している。毎年度、教員へ配付している「授業支援ハンドブック」において、成績評価、GPAについての説明を行うとともに、学内規程で定められた成績評価の証憑資料の保管期限についても周知をしている。また、成績を学生に開示した後、学生からの成績調査確認申請期間を設けている。この制度の目的は、公式で統一された手続きによる問い合わせを可能にすることで、成績評価に対する透明性と公平性を高めることとしている。</p> <p>また、全学、および各学部・学科のディプロマ・ポリシーに基づき、単位修得状況、各科目の成績、卒業論文や卒業研究の成績を踏まえ、卒業を認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
仏教学部	宗学科	124 単位	④・無	(1年生) 46 単位 (2～4年生) 42 単位
	仏教学科	124 単位	④・無	(1年生) 46 単位 (2～4年生) 42 単位
文学部	哲学科	124 単位	④・無	48 単位
	史学科	124 単位	④・無	48 単位
	社会学科	124 単位	④・無	48 単位
	文学科	124 単位	④・無	48 単位

経済学部	経済学科	124 単位	⑦・無	48 単位
経営学部	経営学科	128 単位	⑦・無	(1・4 年生) 48 単位 (2・3 年生) 44 単位
法学部	法学科	126 単位	⑦・無	40 単位
社会福祉学部	社会福祉学科	124 単位	⑦・無	48 単位
	子ども教育福祉学科	124 単位	⑦・無	48 単位
地球環境科学部	環境システム学科	126 単位	⑦・無	48 単位
	地理学科	126 単位	⑦・無	48 単位
心理学部	臨床心理学科	124 単位	⑦・無	48 単位
	対人・社会心理学科	124 単位	⑦・無	48 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学公式ホームページにて公表している。

http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/index.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
仏教学部	宗学科・仏教学科	718,000円	288,000円	283,000円	施設設備資金・教育充実費他
文学部	哲学科・史学科 文学科	718,000円	288,000円	239,000円	施設設備資金・教育充実費他
	社会学科	718,000円	288,000円	256,000円	施設設備資金・教育充実費・ 実験実習費他
経済学部	経済学科	718,000円	288,000円	266,000円	施設設備資金・教育充実費他
経営学部	経営学科	718,000円	288,000円	297,000円	施設設備資金・教育充実費他
法学部	法学科	718,000円	288,000円	276,000円	施設設備資金・教育充実費他
社会福祉 学部	社会福祉学科	718,000円	288,000円	291,000円	施設設備資金・教育充実費他
	子ども教育福祉学科	718,000円	288,000円	311,000円	施設設備資金・教育充実費他
地球環境 科学部	環境システム学科	718,000円	288,000円	476,000円	施設設備資金・教育充実費・ 実験実習費他
	地理学科	718,000円	288,000円	331,000円	施設設備資金・教育充実費・ 実験実習費他
心理学部	臨床心理学科 対人・社会心理学科	718,000円	288,000円	271,000円	施設設備資金・教育充実費他

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 「学生支援に関する方針」に基づき、学事課、各学部・研究科、学生生活課、国際交流センター、図書館等関係部署が連携し、教職員協働での支援体制を整えている。 各学部・研究科では年度当初にガイダンスを行って適切な年次ごとの学修支援を行うとともに、すべての教員についてオフィスアワーを定め、学習相談にあたっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 「学生支援に関する方針」に基づき、キャリアサポートセンターが中心となり、キャリア教育および進路支援を行っている。キャリアカウンセラーの配置や、1年次からキャリア開発基礎講座を設定して対処しており、インターンシップ（大学推薦・公務員等インターンシップ）やスキル開発など必要とされる様々な資格講座も開設している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 「学生支援に関する方針」に基づき、学生生活課が中心となり学生の心身の健康サポートを行っている。品川・熊谷両キャンパスに、学生相談・学生カウンセリングルームを開設し、心理カウンセラー(非常勤)9人を配置し週6日開室して対応している。 障害のある学生に対する学修支援は、障害学生支援室を設けて障害学生に対する日常のサポート、授業担当者に対する合理的配慮の要請や、入学希望者の相談・対応、および学内教職員に対する各種啓蒙活動を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学公式ホームページにて公表している。

http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/index.html